

日刊金属

アルミ
くず

関西アルミくず、6月前半は引き続き弱含み 上物・スソ物とともに3円下げか 品物の発生減と引き合いの弱さは回復せず

関西の二次合金メーカーと原料問屋との価格交渉は進行中。ある大手問屋によると、今週の中頃から本格的な交渉が始まり、来週に概ね決まるという。

4月前半から家電産業の業績低迷に伴って弱含んでいたアルミ市況だが、国内の新塊価格の下落が後押し要因となり、6月前半も上物・スソ物とともに、概ね3円下げになる見通し。

4連休前となる2日入電のLMEアルミ相場がセツルメントで1,937ドルと2,000ドル台割れが続いていることなど、市況は相変わらず軟調推移している。

市況が回復しない海外からの要因としては、昨今の円高に加えて、中国からの安価な輸入スクラップが増加していることで、日本国内のスクラップの二次合金メーカーによる引き合いが弱くなっていると見る向きも散見された。

また市中の品物の発生量については、依然少ない状況が続き、前出の大手問屋によると「つい最近まではメーカーの引き合いに応じて、在庫をはけていた」という。しかし、「アルミくずの発生も少ないが、二次合金メーカーの引き合い自体も弱い」(ある問屋筋)と、現状ではメーカーの引き合いもそれほど多くはなく、市況自体は軟調推移が

続いており、このような状況下で市況は依然として回復傾向にはなっていないようだ。

今後については、日本国内の景気動向に加え、海外のスクラップの輸出動向に注視する向きが散見され、欧米に関しては、日本よりも中国などからスクラップを輸入する傾向が強まっているといい、今後しばらくは国内のアルミくず市況は弱含みが続くと見られる。

アルミ2次合金メーカー買値実勢値 (1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (5月後半)

2S=137円～142円、63S=135円～140円、アルミホイール(1P)=135円～141円、ビス付サッシ=104円～109円、エンジンコロ=115円～122円、込合金(機械鋳物)=105円～111円、缶プレス(ソフト)=91円～96円

関西地区 (5月後半)

2S=139円～146円、63S=137円～144円、52S=128円～135円、印刷板=142円～149円、アルミホイール(1P)=140円～145円、ベースメタル=162円～172円、機械鋳物=106円～115円、ダイライ粉=92円～102円、ビス付サッシ=109円～115円、缶プレス=93円～103円

5月の銅スクラップレポート及び6月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジ、LMEセツルは7000～
7900ドル、建値は600～670円

■概況:前半はフランス大統領選でサルコジ大統領が敗北したのをかわ切りに、今度はギリシャで再建賛成派の連立与党が敗

北、留めはドイツの州議会選挙でメルケル大統領率いる国政与党が過半割れ。以上による欧州救済プランの崩壊懸念が台頭し大幅暴落7980ドル(セツル)と約550ドル下落しての前半締めとなった。

後半はフランス オランダ新大統領がG8でユーロ共同債について言及するなどプラス面もあったがECBドラギ総裁がギリシャのユーロ残留について是が非でもというわけではないとのコメントや中国当局が過去のような景気対策は現在考えていないなどの発言を嫌気し暴落。6月1日現在前半から460ドル下落の7517ドル 建値63万円のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比-18.8%の79万9474台。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比+13.1%の23万6366台(前年比+166.3%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+5.7%(昨年比+10.3%)の7万3647戸であった。

また貿易関連指標では、財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が-18.9%46807t、スクラップが-11%の3万2009t。輸入は 電気銅が前月比+30.4%の4969t、ス

クラップ-1.4%の7048t。

■前月の国内指標:日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比+1.3%の6万7900t(昨年対比-8.1%)。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によれば、前月比-5.9%の5万6400tであった(昨年対比+0.4%)。

■見通し:前月同様に自動車関連は絶好調、住宅関連も底入れが感じられたが欧州懸念の再燃で先行き不安が台頭している。

自動車生産は前年比+174%の79万9474

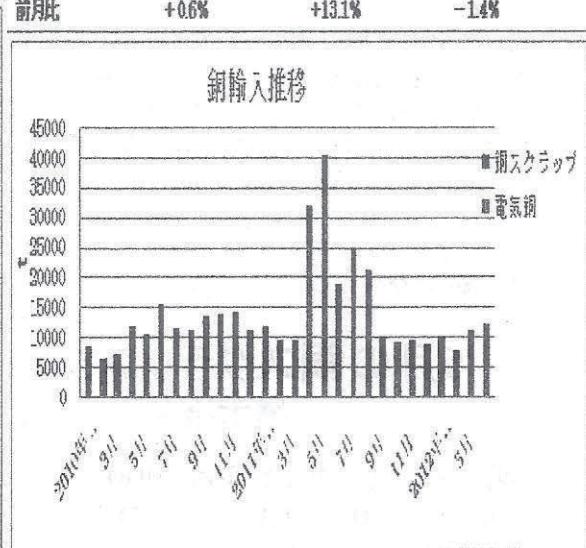
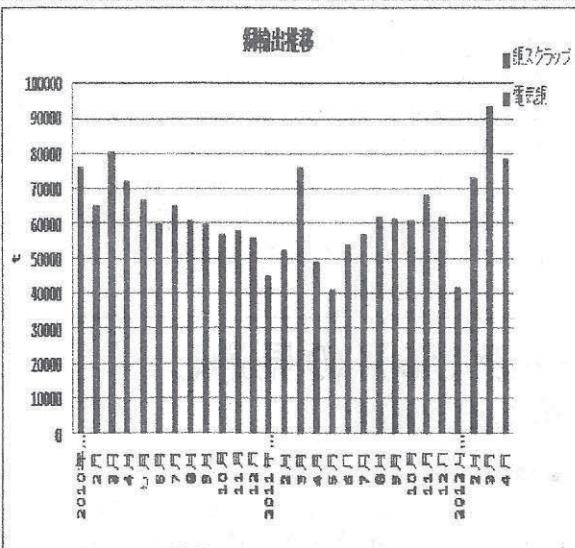
	2月	3月	4月
生産台数	95万2268台	98万4507台	799474台
前月比	+13.7%	+3.4%	-18.8%
昨年対比	+19.7%	+243.7%	+173.8%

	3月	4月	5月
販売台数	49万7959台	20万6977台	23万6366台
前月比	+49.4%	-58%	+13.1%

	2月	3月	4月
新設住宅着工戸数	6万6928戸	6万6597戸	7万3647戸
季節調整 前月比	+11.6%	-7.6%	+5.7%
昨年対比	+7.5%	+5%	+10.3%

	2月	3月	4月
輸入	2月	3月	4月
電気銅	1272t	3810t	4969t
前月比	-66.2%	+200%	+30.4%
スクラップ	6321t	7151t	7048t
前月比	+0.6%	+13.1%	-14%

輸出	2月	3月	4月
電気銅	4万7035t	5万7124t	4万6807t
前月比	+67.6%	+22.7%	-18.9%
スクラップ	2万6470t	3万6946t	3万2009t
前月比	+96.2%	+35.8%	-11%



台と9カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。また国内自動車販売台数も23万6366台と前年比+166%と急上昇。自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比+1.3%の6万7900tの昨年対比(-8.1%)とまたまた前年割れ。銅電線出荷量は、前月比-5.9%の5万6400t、昨年対比+0.4%と3カ月連続回復へ。今回も自動車向けに助けられ形に。新設住宅着工数は季節調整前月比+5.7%の7万3647戸、前年比は+10.3%と大幅回復した。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比-19%の4万6807tと3カ月ぶりの減少。銅スクラップも-11%の3万2009tとこちらも二桁減少した。輸入は前月に続き、全体としては今だ本格的な回復基調には懐疑的だとの見方はあるが絶対量の発生量の大幅減少から輸入は今だ増加。電気銅が+30.4%の4969t、スクラップは-1.4%の7048tとなった。

銅需給に関しては、今のところ、自動車関連の本格的な需要が継続、販売面で自動車が前年比+166%と大幅回復。また住宅着工数は+10.3%(前年比)と大幅増加今後も期待。ただその他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては6カ月連続悪化の-8.1%(前年比)。ただ絶対的な発生量の不足から電気銅需要は今月もタイトなるとの予測。

銅価格に関しては、やはり仏大統領選でのサルコジ氏が落選やドイツのメルケル首相の脆弱な政権基盤。また6月17日のギリシャ

再選挙の行方によっては欧洲救済プランが崩壊する可能性もありかなり危険。仮に米・中・欧の金融緩和発言があったとしても政局の混乱は根深い事から上値も乏しく上値は限られ7900ドルあたり。下値も最悪の場合でも米、中の金融緩和期待が下支えしLME価格で7000-7900ドル。銅建値に関しては60-67万円程度と予測している。

ISO9001:2008 認証取得(2010年1月29日)



磁石屑 ◆高価買取◆

- ネオジウム
- サマリウム

- アルニコ5

粉状・研磨粉もご一報下さい

レアメタルリサイクル全般

レアアース全般販売

新日本住金ステンレス・日鉄製鋼指定 大阪商工会議所会員 大阪府工業協会会員

富士興産株式会社

本社 〒556-0023

大阪市浪速区福島1-9-28

TEL:06-6567-3950

FAX:06-6567-3916

IP:050-5507-4578

営業 〒551-0002

大阪市天王寺区三軒家東3-7-14

TEL:06-6552-1155

FAX:06-6552-1414

IP:050-5525-7707

関連会社 大阪金属株式会社 大阪市浪速区

<http://www.fujikosan.jp> E-mail:aat61140@par.odn.ne.jp

海外

鉱物輸出税課税価格を暫定的にFOB価格へ インドネシア政府高官が示す

インドネシア政府は、5月16日に公布された財務大臣令(2012年第29号)による鉱産物65品目の輸出税に関し、課税価格を暫定的に過去3か月のFOB価格を参考にして課税する考えを示した。

商業省のDeddy・Saleh国際貿易総局長が示したもので、課税価格は国際的な商品取

引価格、例えばLME価格に基づき決定されることが理想的ではあるが、鉱石への価格反映が困難であるとしたうえで、あくまで暫定的な措置として、今回の考えが示された。

今後、政府内関係各省と協議を行ったうえで、早期に課税基礎となる輸出価格に関する規定等を発行する考えも示された。

コデルコ、Diego Hernández総裁が辞任

チリのコデルコは、Diego・Hernández総裁の辞任を発表し、その後の役員会でThomas Keller管理・財務部門副総裁を後任に指

名。同氏は6月1日付で総裁へ就任した。

なお、Hernández総裁と役員会の確執が今回の辞任の背景にあるとされている。Keller